

難波と飛鳥の遺跡を訪ねる旅（実施計画書）

日本の古代史を訪ねる旅です。大阪周辺では大阪歴史博物館、難波宮跡、世界最大の陵墓ともいわれる仁徳天皇陵などを訪ねます。飛鳥に移動して藤原宮跡、甘樫の丘、石舞台古墳などを訪ねます。最後に、桜井から天理までの「山の辺の道」を歩き、卑弥呼の墓ともいわれる箸墓古墳、33 枚の三角縁神獣鏡が出土した黒塚古墳、石上神宮などを訪ねます。

実施日：2018年10月1日(月)～10月3日(水)（悪天候が予想される場合は、メールで連絡の上変更します）

集合場所・時刻：JR 新大阪駅（新幹線から在来線への乗換口・新幹線側）10月1日(月)9:35

解散場所・時刻：JR 天理駅 10月3日(水) 16:30(予定)

主な訪問先：詳しい資料は当日配布します。

10月1日(月) 大阪城、大阪歴史博物館、法円坂遺跡、難波宮跡、仁徳天皇陵(日本最大の前方後円墳)

10月2日(火) 飛鳥の遺跡を歩く(藤原宮跡、大和三山の展望、甘樫の丘、飛鳥水落遺跡、飛鳥寺、酒船石、飛鳥板蓋宮跡、川原寺、橘寺、石舞台古墳、高松塚古墳など)

10月3日(水) 山の辺の道を歩く(仏教伝来の地碑、金屋の石仏、平等寺、大神神社(三輪明神)、桧原神社、箸墓古墳(卑弥呼の墓か)、景行天皇陵、崇神天皇陵、黒塚古墳展示館(33 枚の三角縁神獣鏡展示)、黒塚古墳、長岳寺、菅生環濠集落、竹之内環濠集落、夜都伎神社、内山永久寺、石上神宮など)

宿泊：

10月1日(月)、10月2日(火)は飛鳥のホテルに2連泊を予定（原則2名同室です。1人部屋希望および同室者指名の場合はご一報ください）事前にホテルを予約し、参加者にはホテルの住所・電話番号をお知らせします。

持ち物：

山登りはありませんが、平地・丘陵地を長い日は15kmほど歩きます。歩きやすい靴でご参加下さい。

ザック、雨具、防寒具、非常食(日持ちのする「おやつ」1食分)、常用薬、水筒、カメラ、メモ帳、筆記用具、携帯電話など

参加費：

資料代(500 円)のほか、下記は現地での各自支払となります。

集合場所までの交通費、解散場所からの交通費、

現地での交通費(SUICA が使用できます。5000 円程度チャージしてお持ちください。必要な場合タクシーを使います)

宿泊費(2泊で30,000 円程度)、3 回の昼食費、入館料など

申込先：西田進（joy@nishida-s.com、緊急連絡先 090-9013-1499）

申込期限：過ぎていますが、ホテルが確保できる場合は受け付けます(8 月 25 日締切)

(ご参考)

往路のご参考

東京発 6:26 → 新大阪着 9:30 新幹線ひかり501号(ジパング割引が使えます)

東京発 6:50 → 新大阪着 9:26 新幹線のぞみ7号

帰路のご参考

飛鳥まで来たので、帰りに奈良・京都方面に寄りたい方もおられるでしょう。解散する天理駅からの便は下記の通りです。

(奈良方面) 天理発 16:44 → 奈良着 17:01 (JR桜井線 [奈良行き])

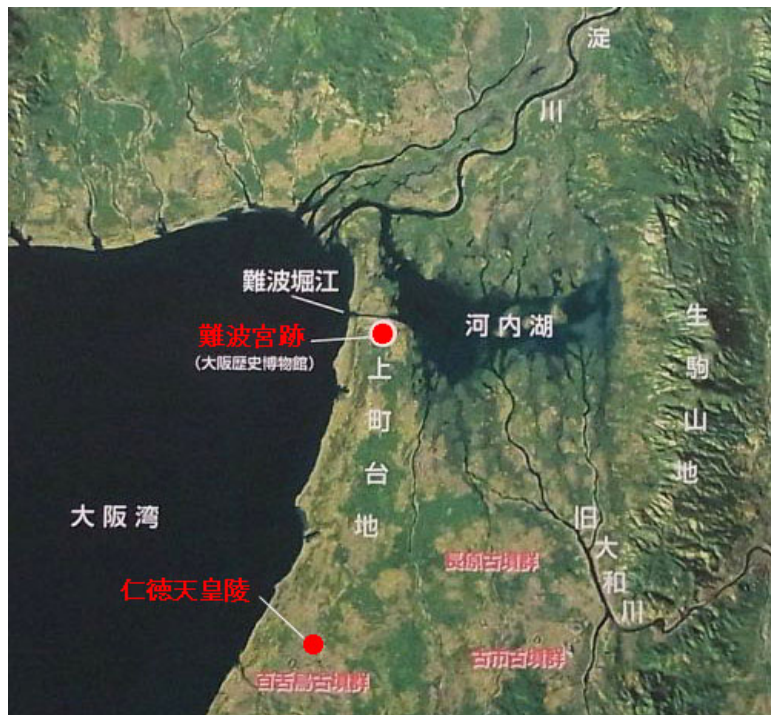
(京都方面) 天理発 16:44 → 奈良着 17:01 (JR桜井線 [奈良行き])

奈良発 17:08 → 京都着 18:18 (JR桜井線 [京都行き])

(東京方面) 京都から先 京都発 18:26 → 東京着 20:43 (新幹線のぞみ250号)

または 京都発 18:32 → 東京着 21:10 (新幹線ひかり532号)(ジパング割引が使えます)

参考になるホームページ 難波と飛鳥 <http://www.nishida-s.com/main/categ4/46naniwa-asuka/>
山の辺の道 <http://www.nishida-s.com/main/categ4/23yamanobenomichi/>



写真で見る「難波と飛鳥の遺跡を訪ねる旅」

下記の写真は、ウェブサイトから借用しました。
今回の旅で、同じ風景が見られるわけではありません。
当日詳しい資料を配布します。



再現された古代の地形図の上に示す難波宮跡と仁徳天皇陵

仁徳天皇陵(大仙陵古墳、日本最大の前方後円墳)



大和三山 畝傍山



香具山



耳成山



蘇我馬子の墓ともいわれる石舞台古墳



三輪山



箸墓古墳(最古級と考えられる前方後円墳、卑弥呼の墓?)



石上神宮